

## 男女共同参画推進委員会 第60回年次大会シンポジウム報告

日時 2005年3月27日(日) 9:00-12:15

場所 東京理科大学野田キャンパス WL会場 K207号室

領域 物理と社会

主題 男女共同参画—科学技術基本計画策定の機会に—

プログラム

1. はじめに (井上順一郎, 名大工)
2. 男女共同参画学協会連絡会アンケート報告 (近藤高志, 東大工)
3. 男女共同参画学協会連絡会アンケート: 物理学会の分析 (登谷美穂子, 京大理)
4. 第3次科学技術基本計画の策定—男女共同参画の視点から— (黒田玲子, 東大)
5. 科研費申請枠拡大—提言とその後—
  - 1) 申請枠拡大の精神 (家 泰弘, 東大物性研)
  - 2) 研究機関の対応 (鳥養映子, 山梨大医工)
  - 3) プロジェクトリーダーの立場から (笹尾真美子, 東北大工)
  - 4) 研究機関代表の立場から (潮田資勝, 北陸先端大)
6. まとめ (田島節子, 阪大理)

報告

現在, 第3期科学技術基本計画の策定に向けた検討が進められている。これに際し, 男女共同参画の推進と若手研究者の自立について, 学会員の意見を交換する場としてこのシンポジウムを企画した。まず, 現状理解と問題整理のため, アンケートの分析結果を全体的立場および物理学会の立場から報告して頂いた。続いて, 第3次科学技術基本計画の策定に大きな発言力を持つ総合科学技術会議の議員である黒田教授のビデオ講演を放映した。そこでは, 今は第2期科学技術基本計画での提案を実行する時である, 旨の講演がなされた。引き続き, 若手研究者に対する具体的問題のひとつである, 「科研費申請枠の拡大」に関する4つの講演がなされ, 講演者からの提案・意見, 聴衆からの質問など, 活発な議論がなされた。このような議論から, 問題解決にむけた新たな提案を期待したい。なお参加者は40名に留まったが, シニアの男性研究者の参加が有意義なものであった。